

平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を詳細に分析した「北海道版結果報告書」が公表されましたので、当町の小中学校における調査結果についてお知らせします。



平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

文部科学省では、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施しております。当町におきましても、小学校5年生・中学校2年生を対象に実施しましたので結果を報告します。

- (2) 運動習慣、生活習慣などに関する児童・生徒向け質問紙調査
- (3) 子どもの体力向上に係る学校の取り組みなどに関する学校・教育委員会向け質問紙調査

4 調査結果

- 実技調査における8種目の総体を示す体力合計点については、小学5年生男女ともに、全国平均と「同等」であり、中学2年生男女については全国より「やや高い」結果でありました。
- 町教育委員会では、平成29年度に実施した調査の結果を基に、今後の体力向上施策の充実と各学校の体育・健康などに関する指導の改善・充実に向けて取り組みを進めるとともに、保護者の方や町民の皆さんに子どもたちの健康や体力に関心を持ってもらい、子どもの体力向上に向けてご協力いただくため、調査結果及び分析結果を公表します。
- なお、本調査により測定できるのは、体力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の側面であることをご理解ください。

1 調査の実施時期

平成29年4月～7月末日

2 調査の対象児童・生徒数（小学校2校・中学校1校）

小学校第5学年	男子	28名	女子	35名	合計	63名
中学校第2学年	男子	23名	女子	20名	合計	43名

3 調査内容

(1) 実技に関する調査

小学校調査 (8種目)	握力・上体起こし・長座体前屈 反復横とび・20mシャトルラン 50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げ
中学校調査 (8種目)	握力・上体起こし・長座体前屈 反復横とび、20mシャトルラン 持久走・50m走・立ち幅とび ハンドボール投げ ※中学校は持久走または20mシャトルランのどちらかを選択



新冠町の体力向上に向けての取り組み

当町では、体力向上に向けて以下の取り組みを進めていきます。

- 1 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実技結果における上位市町村の取り組みの導入
- 2 全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び実技結果に基づく検証改善サイクルの確立
- 3 体力向上に向けたこども園、小・中学校における縄跳びを活用した取り組みの実施
- 4 マラソンや股関節ダイナミックストレッチなどの1校1実践の取り組みの充実

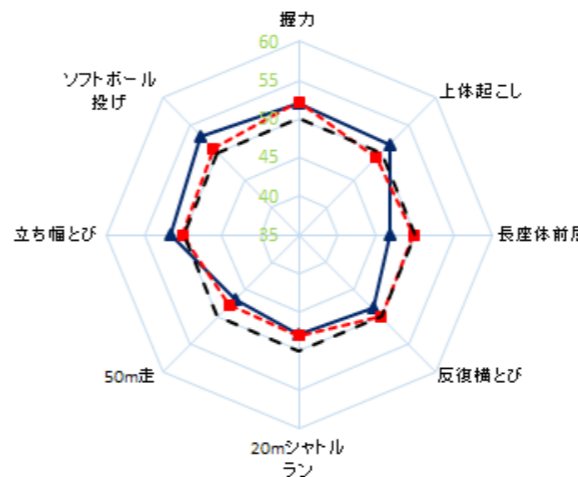


実技調査結果

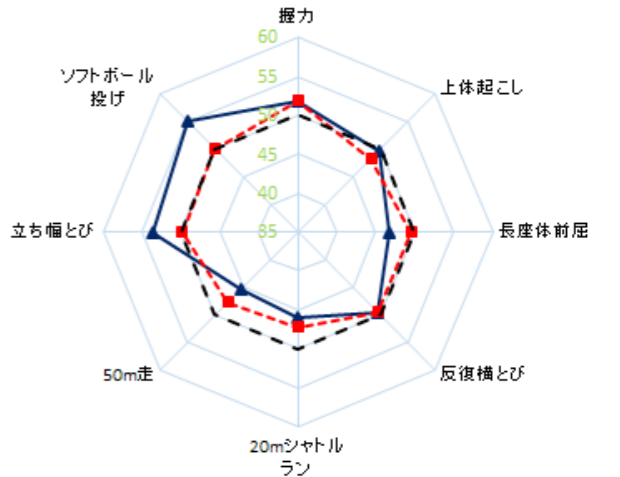
全国を50としたときの数値（T得点）をレーダーチャートで表示

【小学校】 男子は「握力・上体起こし・立ち幅とび・ソフトボール投げ」の4種目で、女子は「握力・立ち幅とび・ソフトボール投げ」の3種目で、全国を上回っております。新冠・朝日小学校ともに、体育授業の目標を児童に示す活動や学習したことを振り返る活動を積極的に取り入れるなど、授業改善を推進した効果が現れております。

【小学5年生男子】



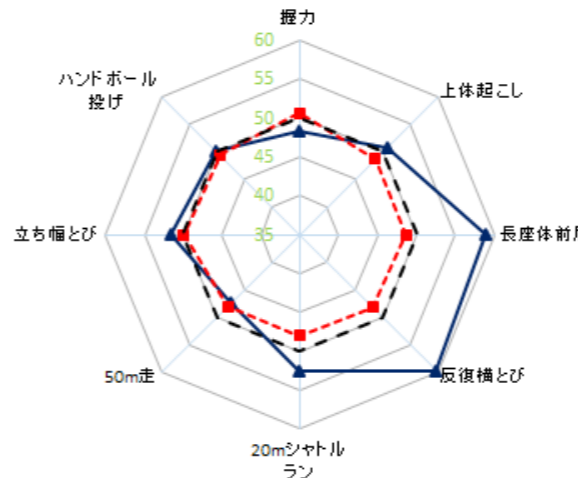
【小学5年生女子】



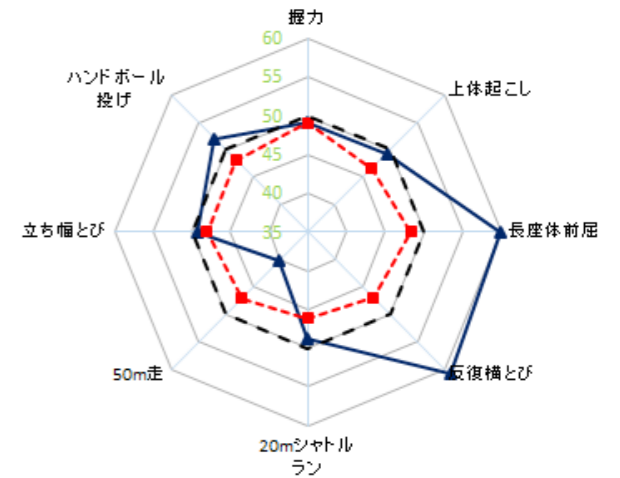
【中学校】

男子は「上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・立ち幅とび・ハンドボール投げ」の6種目で、女子は「長座体前屈・反復横とび・ハンドボール投げ」の3種目で、全国を上回っております。学校が保健体育授業の目標を生徒に示す活動や生徒同士が助け合い、役割を果たす活動を積極的に取り入れるなど、授業改善を推進した効果が現れております。

【中学2年生男子】



【中学2年生女子】



新冠中学校の体力向上の取り組み

今回は実技調査の結果が特に良かった新冠中学校の体力向上の取り組みをご紹介します。

新冠中学校では、保健体育授業の改善を図るため、陸上競技や器械運動を行う前に「関節のダイナミック・ストレッチ」に加え、跳躍力やスピードを高める「SAQ（スピード・俊敏性・反応能力）トレーニング」の取り組みをしております。単元に応じた補助運動を取り入れることで、生徒が自主的・意欲的に授業に参加するようになりました。取り組みの成果として、実技調査（全学年・全種目）の経年変化を分析した結果、特に反復横とびの数値の向上が見られております。



●問い合わせ先：教育委員会管理課
管理グループ ☎ 0146・47・2547